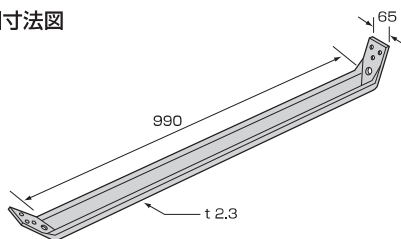


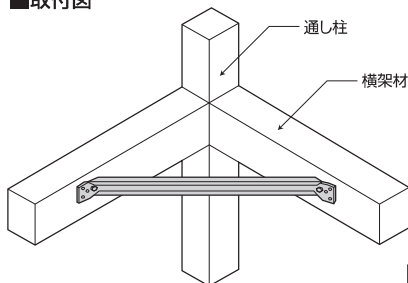
# 火打金物 HB



■寸法図

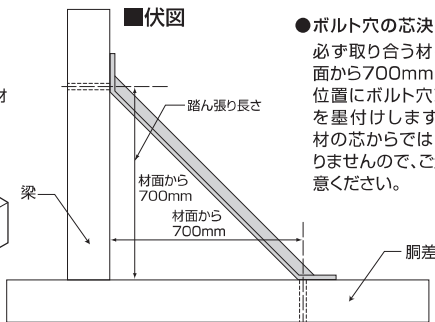


■取付図



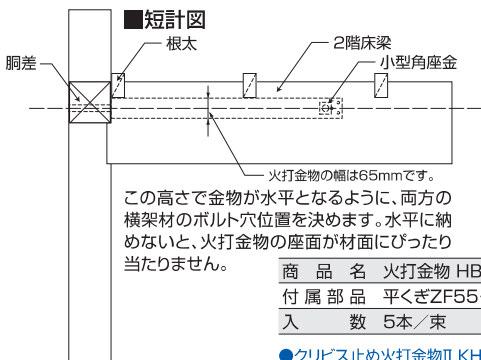
- ボルト穴を正確に保つためには、現場当たりではなくあらかじめ墨付けし、穴あけしておくことが必要です。
- 踏ん張り長さ700mmを間違えると隅角部の直角が絶対に出ません。
- 木工ドリルの径は15mm以上を使わないでください。
- 根太を梁に渡りあげ掛けとすときは、根太下端を欠き込まないように、火打金物の高さを調整します。
- 小屋組で軒桁(または敷桁)から小屋梁に登り勾配に火打金物を取り付けるときは、座面影が必要で。
- 角座金と小型角座金の使い分けは間違えないでください。小型で薄いほうが火打の座面用です。

■伏図



- ボルト穴の芯決め必ず取り合う材の面から700mmの位置にボルト穴芯を墨付けします。材の芯からではありませんので、ご注意ください。

■短計図



商品名	火打金物 HB
付属部品	平くぎZF55...6本 / 小型角座金W2.3×30...2枚
入数	5本 / 束

●クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ=P39参照

## 用途

- 床組及び小屋組の隅角部の補強に使用します。火打土台としても使用できます。

## 使用方法

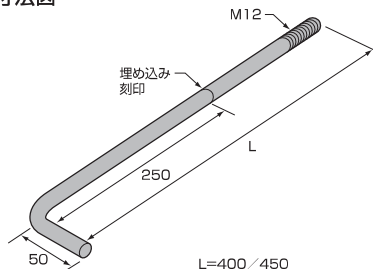
- ボルト締め=建て入れ直し後、火打金物を仮付けし、まずボルト締めします。小型角座金を必ず火打金物の座面側に用います。
- くぎ打ち=最後に平くぎZF55(ほかのくぎは不可)を各端に3本ずつしっかり打ちます。

## ●使用接合具

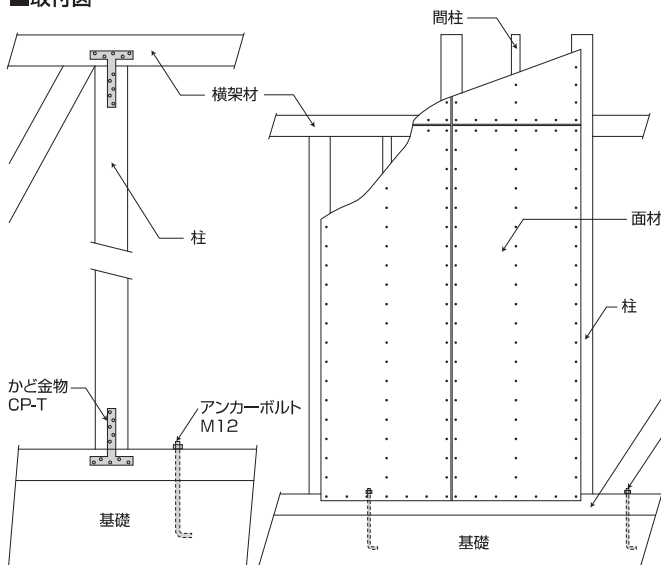
六角ボルト	M12...2本
六角ナット	M12...2個
角座金	W4.5×40...2枚
小型角座金	W2.3×30...2枚
平くぎ	ZF55...6本



■寸法図



■取付図



- 伏図にアンカーボルトの埋設位置を定めおきましょう。
- アンカーボルトは、あらかじめ型枠等に固定吊下げておいてコンクリートを打ちこみます。

## 用途

- 土台を基礎コンクリートへ緊結するのに使用します。

## 使用方法

- 基礎への埋め込み長さは250mm以上とします。
- 筋かい及び面材を張った耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近接した位置に埋設します。
- 土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の土台端部位置に埋設します。

## ●使用接合具

六角ナット	M12...1個
角座金	W4.5×40...1枚

商品名	アンカーボルト M12
付属部品	六角ナットM12...1個
入数	50本 / ケース (ナット: 50個入×1袋)

●同等認定品: クランクアンカーボルトZAC-R=P61、クリアンカーボルトKA-M12=P59、クリクランクアンカーボルトKZAC-M12=P60参照